

感染症発生状況

令和2年1月17日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和2年1月6日（月）～1月10日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】217名 【職員】47名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】43名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（78名）、咳・鼻水（35名）、嘔気・嘔吐（15名）、下痢・腹痛（7名）

疾病別：インフルエンザ（66名）、溶連菌感染症（11名）、胃腸炎（5名）、気管支炎・肺炎（3名）

【職員】症状：熱（3名）、下痢・腹痛（3名）、咳・鼻水（1名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：インフルエンザ（22名）、溶連菌感染症（2名）

インフルエンザ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症が少しある程度です。これからインフルエンザが一山あるでしょう。職員においてもワクチンは必須です。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山、厨川、河北、河南、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、河北、河南地域で増加しました。

胃腸炎 河北、河南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 河北、河南地域で増加しました。

【県の状況（12/30～1/5）】

第1週は年末年始で休診の医療機関が多く、患者数は全体的に少なくなっています。

インフルエンザは、県内すべての地区で注意報値（定点あたり患者数10人）を超えています。ウイルスは発症前日から発症後3～7日間排出されると言われています。発熱等の症状がある場合は、登校や出勤を無理にせず医療機関を受診すること、症状の有無に関わらず、人混みへの外出を控えること、普段からの咳エチケット（マスクを正しくつける、咳やくしゃみの際はティッシュや袖で口や鼻を覆う）や手洗い等の感染対策が重要です。

新学期が始まり、学校等での集団生活が再開されると、インフルエンザやウイルス性胃腸炎が流行する可能性が高まります。特にインフルエンザは、今シーズン流行の中心が小中学生のため、更なる拡大が懸念されます。手洗いや、咳エチケットなどの基本的な感染予防対策を。

海外へ渡航し、帰国後に体調が悪くなった場合は、医療機関に問い合わせのうえ、渡航歴を伝えて受診することが大切です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】